

地域計画

| | |
|-------------------|-----------------|
| 策定年月日 | 令和6年3月28日 |
| 更新年月日 | () |
| 目標年度 | 令和15年度 |
| 市町村名 (市町村コード) | 宇和島市 (203) |
| 地域名 (地域内農業集落名) | 宇和島大内地区 (大内) |

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

| | |
|--------------------------------------|---------|
| 区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域) | 20.5 ha |
| ① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 | 20.5 ha |
| ② 田の面積 | ha |
| ③ 畑の面積(果樹、茶等を含む) | 20.5 ha |
| ④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計 | 8.1 ha |
| ⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計 | 0 ha |
| (参考) 区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計 | 10.3 ha |
| うち後継者不在の農業者の農地面積の合計 | 4 ha |
| (備考) | |

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】

本地域における農業は柑橘がメインであるが、小規模経営であり、かつ65歳以上の従事者が過半数である。農地の状況については、平地はわずかであり、ほとんどが急傾斜の山間地に点在している。

【課題】

後継者不足が深刻な状況。農地については、遊休地の増加やスプリンクラー施設の老朽化、また老木園の増加が挙げられる。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

現行の農地について、スプリンクラーによる防除を中心としたブロック単位での集約を行うことが望ましいと考える。また、本地域の特性に合致するような品種をベースに、高単価の品種をマッチングした栽培技術の確立と安定的な経営を進めていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

| | | | |
|--|------|-------------|------|
| (1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針 | | | |
| スプリンクラーによる防除を中心としたブロック単位での集約 | | | |
| (2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標 | | | |
| 現状の集積率 | 60 % | 将来の目標とする集積率 | 60 % |
| (3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標 | | | |
| ※具体的な目標は未定 | | | |

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

| |
|---|
| (1) 農用地の集積、集団化の取組 |
| スプリンクラーによる防除ブロック内の路線を中心に集約していく。また、地域外に住む親族等の協力も、将来的に必要なになってくると思われる。 |
| (2) 農地中間管理機構の活用方法 |
| 農地面積が小規模なこともあり、具体的な活用方法の検討には至っていない。 |
| (3) 基盤整備事業への取組 |
| 現状では、スプリンクラー施設が入っているため難しいが、将来的には取り組みたい意向はある。 |
| (4) 多様な経営体の確保・育成の取組 |
| 引き続き、地域の柑橘組合を中心とした各種事業への取組を実施する。また、若手経営者を中心に法人化への取組が必要。 |
| (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 |
| 柑橘農家にとって、収穫が最も負担のかかる作業であることから、農業協同組合等と連携して、活用できる支援制度等について検討を行う。 |

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

| | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|---|-------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策 | <input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料 | <input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> ④輸出 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等 |
| <input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等 | <input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等 | <input type="checkbox"/> ⑧農業用施設 | <input type="checkbox"/> ⑨その他 | |

【選択した上記の取組内容】

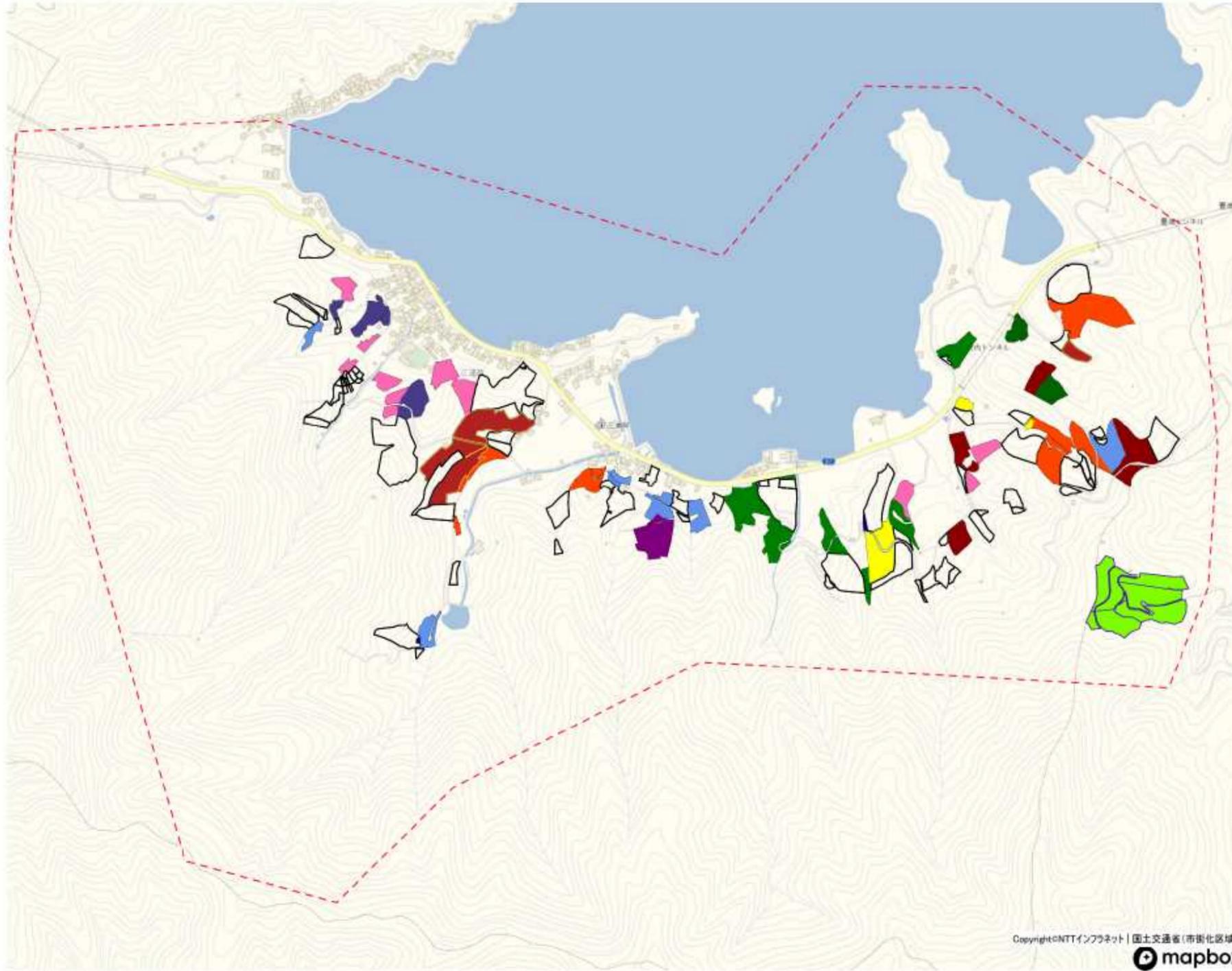
③柑橘農業は稲作や野菜に比べて、機械化の余地は少ないように思われるが、ドローンによる防除や、足場の悪い園地での重量物の運搬方法等を検討する。
 ⑤本地域の特性に合致するような品種をベースに、高単価の品種をマッチングした栽培技術の確立と安定的な経営を進める。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。



- 目標地区
- A
 - B
 - C
 - D
 - E
 - F
 - G
 - H
 - I
 - J
 - K
 - L
 - M
 - N
 - O
 - P
 - Q
 - R
 - S
 - T
 - U
 - V